

日独社会保障共同研究 2009

日独社会保障政策の回顧と展望 －医療保険と年金を中心に

2009年1月16日(月) 13:30 - 17:00

国際研究交流会館 国際会議場

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、私ども医療経済研究機構の活動に格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

日本とドイツの社会保障制度は、ともに社会保険を基軸として発展してきましたが、近年の少子高齢化の進展や経済のグローバル化など、社会経済環境が大きく変化する中で、日独のいずれの社会保障制度も多くの課題に直面しています。

医療経済研究機構では、日独両国における戦後から現在までの社会保障政策の歩みと今後の目指すべき方向について、日独の共同研究プロジェクトに取り組んでおりますが、この度、この研究成果について、「日独社会保障政策の回顧と展望－医療保険と年金を中心に」をテーマに公開シンポジウムを開催する運びとなりました。

このシンポジウムは、フリードリヒ・エーベルト財団からの協賛の上、日独両国の社会保障研究者及び行政経験者による報告とディスカッションを通じて、両国の医療と年金を中心とした社会保障制度・政策の変遷を振り返り、いくつかの転換点における政策的な企図とその結果を辿るとともに、今後の社会保障制度への政策的な含意を探ります。

シンポジウムには、日本側の行政経験者として、財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 幸田正孝理事長、財団法人厚生年金事業振興団 吉原健二顧問が参加し、ドイツ側の行政経験者として、元ドイツ連邦労働社会省 事務次官 テークトマイヤー(Werner Tegtmeier)氏、元連邦保健省 医療保険局長 シュルテ(Gerhard Schulte)氏が参加されます。また、社会保障研究者として、日本側から早稲田大学 土田武史教授、山口県立大学 田中耕太郎教授、ドイツ側からは、前マックス・プランク国際社会法研究所 所長 マイデル(Bernd Baron von Maydell)氏にご参加いただく予定となっております。

日独それぞれから、社会保障制度の研究者と、政策の決定と実施に直接関わってきた行政経験者を迎えて、掘り下げた議論ができる貴重な機会になるものと考えております。

ともに社会保険を中心とする我が国とドイツの社会保障制度が、社会構造や経済状況の変化の中で、これまでどのような理念と目的のもとに展開されてきたのかを検証しつつ、そこから示唆される将来への展望を探ることは、今後の我が国の社会保障制度を考える上で、大変参考になると思われまますので、お誘い合わせの上、ぜひともご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

シンポジウムのご案内（案）

1. テーマ	日独社会保障政策の回顧と展望－医療保険と年金を中心に		
2. 出演者 (敬称略)	日本側	幸田 正孝 吉原 健二 土田 武史 田中 耕太郎	(財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長) (財団法人厚生年金事業振興団 顧問) (早稲田大学 商学部 教授) (山口県立大学 社会福祉学部 教授)
	ドイツ側	Werner Tegtmeier Gerhard Schulte Bernd Baron von Maydell	(元ドイツ連邦労働社会省 事務次官) (元連邦保健省 医療保険局長) (前マックス・プランク国際社会法研究所 所長)
3. プログラム (予定)	13:30	開会挨拶 (医療経済研究機構 宮澤所長 ※要調整)	
	13:40 - 14:30	ドイツ側 報告とコメント	
	14:30 - 15:20	日本側 報告とコメント	
	15:20 - 15:35	休憩 (質問用紙の回収)	
	15:35 - 16:45	パネルディスカッション	
	16:55	閉会挨拶 (医療経済研究機構 岡部専務 ※要調整)	
			(同時通訳あり)

4. 開催日時 2009年(平成 21年) 11月 16日 (月) 13:30 ~ 17:00

5. 会場 国際研究交流会館 国際会議場 (国立がんセンター内)
〒104-0045 東京都中央区築地5-5-1 TEL: 03-3543-0332



建物配置図



- ・ 都営地下鉄 大江戸線 築地市場駅A3番出口から徒歩1分
- ・ 東京メトロ 日比谷線 築地駅2番出口から徒歩5分
- ・ 都営地下鉄 浅草線 東銀座駅6番出口から徒歩5分
- ・ 東京メトロ 有楽町線 新富町駅4番出口から徒歩10分

※ 駐車場のご用意をしておりませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

6. 参加費 医療経済研究機構 賛助会員 無料 / 会員以外(一般) 1,000円
(資料代として) (参加費は当日会場にてお支払い願います)